

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	本庁舎等維持管理費（西木）							
担 当 課 係 名	西木総合窓口	課	-	係	作成者	新山敦晃		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	計画達成のために				総合計画の ページ		
	基本計画	行政運営の効率化						
	主要施策	行政改革の推進／新庁舎建設と市有財産の有効活用				106		
予 算 費 目	一般	会計	2 款	総務費	1 項	総務管理費	5 目	財産管理費
事 業 期 間	平成 18 年度 ～ 平成 20 年度				新規／継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス		☐ 公共事業		☐ 施設維持管理		☒ 補助金	☐ 内部管理
根 拠 法 令 等	仙北市庁舎管理規則 ほか							
事 務 区 分	☒ 自治事務		☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営		☒ 直営（一部民間委託）		☐ 民間委託(全部)		☐ 補 助	

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	来庁者及び職員
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	庁舎設備を維持管理し、庁舎の安全性及び来庁者の利便性や職員の労働環境の維持又は改善を行い公務の円滑な遂行を図る。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	庁舎環境衛生管理、清掃、冷暖房等機械設備、電気設備等維持管理

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
	活動指標	庁舎面積		目標	m ²	3,002	3,002
効果	成果指標			実績	m ²	3,002	3,002
				達成度	%	100.0%	100.0%
				目標	円	71,301	77,475
				実績	円	71,301	77,475
				達成度	%	100.0%	100.0%
				達成度	%	100.0%	100.0%
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)
	事業費（人件費を除く）(A)				12,254	12,341	12,143
	人 件 費 (B)		—		6,282	6,457	6,340
	職 員 数		—		0.80	0.80	0.80
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925
	(A) + (B) 投下コスト				18,536	18,798	18,483
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源				18,536	18,798
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		6,175	6,262	6,157
	市民1人当たりのコスト(円)		—		581	598	595

【事務事業の今までの成果】

委託費の長期継続契約、燃料費等の省エネの遂行。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	分庁舎方式である以上必然的に必要である
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	施設の老朽化が進む中で、安全対策及び所要のメンテナンスは確実に実施する必要があることから、効率的かつ計画的に事業を実施すべく、一層の工夫が求められます。

一次評価診断図

